デトロイト日本商工会月刊会報
Views
2
2018
Issue 287

2017年度 JBSD基金 グラント授与式

昨年12月12日(火)、2017年度JBSD基金グラント授与式を一昨年に続いてノバイにあるSuburban Collection Showplaceで開催した。2017年度グラントを授与した非営利団体数は新規2団体を含め、州内の約20の市に所在する48団体となった。

授与式は、クラークJBSD基金理事長の挨拶で始まり、JBSD基金が会員のご支援によって本年もグラントの授与式を実現できたこと、1992年以来の長きに亘って地元コミュニティに貢献してきたグラントの累計総額が200万ドルを超えたことが報告されると会場から大きな拍手が沸きあがった。加えてJBSD基金が頂いたご寄付は、日本への体験就学を希望する州内の大学生、高校生への奨学金としても授与しており、累計で170人を超える学生が訪日し友情の架け橋を築いてきたことも紹介された。そして、これらの活動を支えていただいているJBSD会員、支援者への謝意が述べられ、同時にボランティアとして貢献をしていただいているJBSD基金の役員へお礼が述べられた。理事長挨拶に続いて、在デトロイト日本国総領事館の酒井首席領事よりご挨拶を賜った。グラントを授与している団体の活動分野は、これまでと同じくCommunity Enhancement（コミュニティ）、Education & Research（教育・研究）、US-Japan Relation（日米関係）の3つで、総額で約10万7千ドルが授与された。限られた時間の中ではあったが、各団体からは代表者がJBSD基金へのお礼の言葉と共に授賞対象となった活動内容や目的を熱心に紹介した。

受賞団代表たちは其々の活動内容についても語ってくださった（長きに亘り中・高交換留学を実現させているPontiac学区国際交流委員会代表カーター氏（写真中央）とMonroe Int'l Friendship Assoc. を代表し駆けつけたMonroe市クラーク市長（右））

2017 JBSD Foundation Grant Award

US-Japan Relations

- Ann Arbor Public Schools-Hikone Ann Arbor Educational Exchange Program
- Clinton Township - Yasu Cultural Exchange Program
- Eastern Michigan University Foundation - Japanese Section
- Eastern Michigan University Foundation, Department of World Language
- Hinoki Foundation
- International Institute of Metropolitan Detroit (Detroit Sister Cities Program)
- Japan Center for Michigan Universities (JCMU)
- Japanese Cultural Center, Tea House, and Gardens of Saginaw
- Japanese Teachers Association of Michigan (JTAM)
- Lenawee County Education Foundation-Japanese Exchange Program
- Monroe International Friendship Association
- Pontiac School District International Exchage Committee
- University of Michigan - Japan Student Association
- Walled Lake City Library
- West Bloomfield Twp. Public Library

Education & Research

- Ann Arbor Public Schools (Bach Elementary School)
- Ann Arbor Public Schools (Lakewood Elementary School)
- Ann Arbor Public Schools (Lawton Elementary School)
- Ann Arbor Public Schools (Slauson Middle School)
- Clarkston High School
- College for Creative Studies
- Detroit Ringokai
- Eastern Michigan University Foundation, Japanese Section
- Farmington Public Schools
- Foreign Language Immersion and Cultural Studies School (FLICS)
- Novi Community School District
- The Regents of the University of Michigan (Japanese Family Health Program, Dept. of Family Medicine, Univ. of Michigan)
- Walled Lake Consolidated Schools
- West Bloomfield School District
- West Bloomfield Adult Education
- Western Michigan Univ. , Michiotshi Soga Japan Center
- Utica Academy for International Studies
- University of Michigan, Center for Japanese Studies CJS

Community Enhancement

- Alternatives For Girls
- Birmingham Bloomfield Art Center
- Council of Asian Pacific Americans (CAPA)
- Detroit Historical Society
- Detroit Kendo Corporation
- Detroit Symphony Orchestra, Inc.
- Downtown Boxing Gym Youth Program
- Ennis Center for Children, Inc.
- Ikebana International Detroit Chapter #85
- International Neighbors
- Mosaic Youth Theatre of Detroit
- Oakland Literacy Council
- Pebble Creek Chamber Orchestra
- PuppetART Detroit Puppet Theater
- Sweet Dreamzzz, Inc.

JBSD 基金：
地元社会への貢献を通して、当地における日本人コミュニティと地元コミュニティ間の相互理解、友情、信頼関係を深める目的で1992年に設立された。日本人子弟が通う現地校をはじめとする教育機関、日米文化交流に貢献している各種団体に寄付を行いその活動を支援している。設立以来の寄付累計額は昨年のグラントで200万ドルを超えた。

© 2018 JBSD. All rights reserved. 02-18 Designed by JT&D. Opinions expressed here are those of the authors and do not necessarily reflect those of the JBSD.

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックス

米国における対日世論調査

昨年12月、外務省が実施した米国における対日世論調査の結果が公表されましたのでお知らせいたします。総領事館としましても、JBSD会員の皆様のお力も頂きながら、草の根レベルで日米交流を促進し、日米関係の更なる強化に取り組んでいきたいと思います。

平成29年（2017年）3月、外務省はニールセン社に委託して米国における対日世論調査を行いました。本件世論調査は1960年以来ほぼ毎年実施しており、18歳以上の1,005名を対象とした「一般の部」と、各界（政官財、学術、マスコミ、宗教、労働関係等）で指導的立場にある200名を対象とした「有識者の部」に分けて電話調査を行いました。

1. 対日信頼度は、一般の部で82％（昨年度73％）、有識者の部でも86％（昨年度83％）と、昨年度と同様に高い数値が示されました。日米協力関係を「きわめて良好」ないし「良好」と回答する割合は、一般の部で62％（昨年度同じ）、有識者の部で58％（昨年度75％）となりました。また、日米間の相互理解が「良好」と回答した割合は、一般の部で43％（昨年度36％）、有識者の部では33％（昨年度38％）でした。

2. アジアにおける米国の最も重要なパートナーはどの国かとの質問については、今回は一般の部、有識者の部共に、昨年度と同様に一昨年度までの選択肢（日本、中国、韓国、ロシア）にオーストラリア、インドの選択肢を加えて調査を実施し、一般の部では、「日本」と回答した割合が33％（昨年度27％）となり最も多く、ついで「中国」が20％（昨年度25％）でした。有識者の部でも、「日本」としたのは34％（昨年度48％）で最も多く、次いで「中国」が21％（昨年度19％）となりました。

3. 日米安全保障条約は、「維持すべき」との回答が一般の部で82％（昨年度81％）、有識者の部で86％（昨年度84％）となり、昨年度と同様に8割以上の支持が示されました。また、同条約は日本及び極東の平和と安全へ「非常に貢献している」及び「やや貢献している」との回答が、一般の部で83％（昨年度77％）、有識者の部で88％（昨年度86％）を示し、さらに、日米安全保障条約は米国自身の安全保障にとって「極めて重要である」及び「ある程度重要である」と回答した割合も一般の部で87％（昨年度85％）、有識者の部で86％（昨年度84％）となっていることから、日米安全保障体制に関し、全体的に高い評価が示されています。日本は防衛力を増強すべきと考えるかとの質問については「増強すべき」という回答が、一般の部で61％（昨年度59％）、有識者の部で66％（昨年度65％）でした。

4. 日本と米国は、アジア太平洋地域の平和と安全のために、緊密に協力すべきと考えるかとの質問に対する回答は、一般の部で91％（昨年度93％）、有識者の部で96％（昨年度100％）の大多数が「協力すべき」と回答し、また、日本は、アジア太平洋地域の平和と安定のために、より積極的な役割を果たしていくべきと考えるかとの質問に対しても、大多数の一般の部で80％（昨年度83％）、有識者の部で85％（昨年度88％）が「より積極的な役割を果たしていくべき」と回答しました。

5. 日本に対するイメージに関する質問（複数回答、「一般の部」のみ実施）については、「豊かな伝統と文化を持つ国」（95％）、「経済力・技術力の高い国」（87％）、「自然の美しい国」（84％）、「戦後一貫して平和国家の道を歩んできた国」（82％）、「新しい文化を世界へ発信する国」（79％）が上位を占めました。また、日本文化について関心のある分野については、「日本食」（70％）、「建築」（66％）、「生活様式、考え方」（65％）、「相撲、武道（空手、柔道、剣道他）」（50％）、「生け花」（46％）が上位を占めました。

6. 日米間で経済関係をより深化させるために、日本が特に進めるべきと考える政策（「有識者の部」のみ実施）は、「クリーンエネルギーや高速鉄道などの技術協力などの促進」が最も多く86％、その次に「TPP交渉での協力」及び「シェールガス等の資源開発での協力」が57％と続きました。

以上、外務省による平成29年12月公表結果です。

外務省HP
www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_005467.html

236回 リレー随筆

Technoの聖地…D?

Axxis Corporation
足立（あだち） 篤紀（あつのり）

Dani Lehman

Anthony Jimenez

Dを自分なりの言葉で説明すると、「廃墟が連なるアートの場所、そしてMovementが起きたTechnoの故郷、それは唯一無二の魅力ある街」！

1950年代後半の景気後退を契機に、その後の自動車産業衰退に伴うゴーストタウン化、2008年のリーマンショック、そして市の財政破綻。どん底を何度も経験したからこそ、何かを生むパワーが宿り、アート、音楽が生まれる。それは運命であり必然でもある。そんなサブカルチャーの後押しを受けながら生き続けている街、それがデトロイト！（以下：D）

この街を、音楽の切り口でお話しします。一般の方にも徐々に馴染み深くなってきたDetroit Electric Music Festival "Movement"（Technoを中心としたイベント）、これは音楽を通じて、Dの街を復活させようとの意味が込められ、2000年にTechno DJのCarl CraigとD市が立ち上がりイベントを開始。（※実際には2000年以降幾度か問題が発生し、最終的には2006年からプロモート会社Paxahauにて運営されている）これは年1回行われるお祭りであり、世界で活躍しているDJや地元の人気DJにて構成されています。しかし、通常、この街のTechno Sceneでは、華やかイメージはあまり無く、明日を夢みるTechno DJが日々努力しています。

僕は、月1度、家族の了解を得て（半ば強引ですが 笑）TechnoをDのClubへ1人で足を運びます。そのおかげで、沢山のDJ、またレーベルオーナー達と友達になり、この街のUndergroundのTechnoの話、また自分自身色々な体験をさせてもらっています。特に興味深かった話題は、90年代のTechnoのParty Scene、Warehouseでの数千人以上動員したParty、USAとCANADA国境にかかる橋（アンバサダーブリッジ）の下で行われたSecret Party、さらには廃墟ビル内でのゲリラParty等が行われ、若者が自由と平和を求め、そしてPartyそのものがフリーダムだったこと、うれしそうに語ってくれました。これらは、ネット情報でなく、Technoの聖地にて、真のUndergroundに触れ合えているのだと実感しています。

DのClubについて少しお話しします。一般的なClubは、営業10:00pm–2:00am（閉店2:00amは、法的にお酒を販売できる時間と合わせているとのこと）ですが、一部4:00am or 6:00amまで営業している所も存在します。エントランスFeeは、$10–$20と良心的です。セキュリティー上、必ずID&BodyCheckは行われますが、その反面Club内の治安に関しては少し安堵できます。僕の好きなTechno（ミニマルで重いベースライン）のPartyは、30歳アップの年齢層が多く、ニッチな世界で有るため、かなりDeepです。HomeのClubは、店員の殆どは知り合いのため、毎度楽しい話で盛り上がり、時々ドリンクのサービスもしてくれ、居心地、満足度は最高です。建屋はレンガ作り、店内はブラックライトの照明のため、かなり暗いです。壁やドアには、無数のParty、DJのステッカーが無造作に貼り付けられ、この何気の無いものでさえ、アートに感じてしまう。これもDマジックでしょうね。

ここで、友人でもありそして陰ながらサポートをしているDの一押しDJ 2人を紹介させていただきます。 Dani Lehman、彼女は、まさにDの新星。小柄ゆえ華奢ではあるが、一旦DJブースに立つとそのパワフルさは男顔負けのPlay。彼女の存在自体が、オーディエンスを引付けるパワーの持ち主。昨年、Dにインスパイアされ、NYよりTechnoの聖地へ移住。部屋をスタジオに改造し、日々 Track制作に精を出しています。週末の大半は、USのどこかのClubでPlayしており、NY、LA、Chicago、Miami、Toronto等でも活躍中。

Anthony Jimenez、彼もまた3年程前、クリーブランドから移住したDJ。近年Dで一番勢いがあり、近い将来世界中で通用するTechno DJとして羽ばたくことは間違いないでしょう！ 毎度、僕をウェルカムで受け入れてくれ、さらに娘が壊したMixerも即修理してくれる頼もしい男。USのGigだけではなく、北米、中南米、今年初のBerlinでのPlayを成功させています。そんな彼から、DJとは? またUndergroundのTechnoの神髄等、色々なDeepな話を聞かせてもらっています。しかし、そろそろBigなDJになりそうだから、相手にしてもらえないかも…。

魅力あるDのTechno & Club Sceneについて、ほんの一部しかお話しできませんでしたが、今回はここで失礼します。この記事を読んで興味をもった方、DのClubでお会いできる日を楽しみにしています。そして、帰任前に、一度でいいからDでDJしたい、という気持ちを忘れず、これからも唯一無二の魅力ある街に絡んでいきます。また、SNSを通じて、世界中のTechnoファンへ、リアルなTechno Sceneを引き続き伝えていきたい！

次回のバトンは、AGC Automotive Americas R&D Inc.の野田さんへトスします。

JBSD イベント報告

商工部会・みずほ銀行共催

自動車セミナー開催

去る11月13日（月）、みずほ銀行のご協力によりEmbassy Suites LivoniaにおいてJBSD商工部会との共催で自動車セミナーを開催しました。

セミナーは第一部と第二部に分かれ、第一部は『自動車電動化の新時代―自動車業界が採るべき針路―』、第二部は『GMとFordのトランスフォーメーション』について講演が行われました。

具体的な講演項目とそれぞれの講師は以下の通りです。

本セミナーに関するお問い合せ先：
伊藤　琢也
Mizuho Bank, Ltd. Americas Corporate Banking Department No.1（Chicago）
Tel: 312- 855-8360
E-mail: takuya.ito@mizuhocbus.com

第一部『自動車電動化の新時代 ―自動車業界が採るべき針路―』

講師：斉藤　智美
みずほ銀行産業調査部　自動車機械チーム調査役

第1章
1–1. 電動化の進化をもたらす3つの変化
1–2. 電動車普及予測と完成車メーカーが直面する課題

第2章
2–1. 対応を急ぐ完成車メーカー
2–2. 対応を迫られるサプライヤー

第二部『GMとFordのトランスフォーメーション』

講師：安藤　裕之
みずほ銀行産業調査部　米州調査チームNY調査役

1. はじめに
2. 業績推移と経営計画
3. 既存領域の効率化
4. 新規領域の開発
5. それぞれが目指すポジショニング
6. 日系サプライヤーの視点

JBSD Foundation
ハリケーン被害 復興義援金募金へのご協力ありがとうございました。
Donation for Disaster Relief against Hurricane Harvey

Our Hurricane Harvey Fundraiser is complete.

Thank you very much to everyone who donated to support victims impacted by the devastation of Hurricane Harvey. JBSD Foundation raised $19,586.00 total and completed sending the donations to the American Red Cross.

JBSD Foundation would like to thank the entire community for their kindness and generosity.

商工部会・Works Applications America Inc. 共催

AI によって加速化するビジネス革命の大潮流

去る12月14日（木）、ワークスアプリケーションズ社により、AIがもたらすビジネス革命についてセミナーが開催されました。

セミナーは第一部と第二部に分かれ、第一部は『“AI x ビジネス”の新時代がやってくる―AI最前線とその活用方法―』、第二部は『AI x 会計＝会計業務の新時代―数字の収集、解析、意思決定の一歩先へ―』について講演が行われました。

具体的な講師と講演概要は以下の通りです。

第一部

講師：寳槻　昌則

SVP, Sales, Works Applications America

脚光を浴びている新技術“AI（人工知能）”は、ニュース等で話題には上がるものの、SF映画のイメージが先行してしまい、その実像について正しく理解されていないのが実情です。そもそもAIとはなにか、AIができること、AIができないこと、機械学習、汎用AIvs. 専用AI、働き方大改革、データに基づいた事業戦略支援等々、さまざまなキーワードを足がかりに、その技術をわかりやすく読み解き、”AI x ビジネス”の最前線に迫りました。

第二部

講師：大﨑　健太朗

Manager, Marketing and Sales, Works Applications America

40年変わらなかった会計の業務が、いまAIによって劇的な変化を遂げようとしており、もはや人間ではなく、AIが代替可能な業務が出現していきます。AI技術によって会計業務はどう変わり、今後どのような業務がメインとなっていくのか、会計、経理業務を例とし、ワークスアプリケーションズが開発中のAI搭載会計ソフトウェアのデモをまじえながら具体的に紹介されました。

ワークスアプリケーションズ社HP：https://ai-works.us

本セミナーに関するお問い合せ先：
大﨑　健太朗
マーケティング & セールス部門
Tel: 424-266-9430
E-mail: info@ai-works.us

青年委員会主催

Michigan Brewery Bus Tour 開催報告

現在、全米でクラフトビールが人気であり、ミシガン州にも多くのBreweryが存在しています。中でも人気のBell's BreweryとFounder's Breweryに行って参りました。

Founder's Brewery工場見学ツアーでは、職人さんがビール通に好まれるビールを造りたいという熱意を伝えながらも、ユーモアを交えて丁寧にビール製造の工程を説明してくれ、参加者の方々は熱心に聞き入っていました。

また、それぞれのBreweryではその場でしか味わえないビールを存分に堪能したり、お店でしか買えないグッズを購入したり、各々楽しんでいただけたようでした。

帰りのバスでは良い具合に酔いも回ったようで、皆さんぐっすりとお休みになられていました。このツアーをきっかけに自分でビール製造に挑戦しようとする方もいらっしゃるのではないでしょうか？（日本での個人ビール製造は違法になります。）

（青年委員会: 芝野・松岡・召本・茨木・綾部・江口・山本）

“Inflammaging”

ミシガン大学病院 医師
中村 美緒

皆様、“Inflammaging”という言葉をご存じですか？ Inflamm-Aging、日本語に訳すと「加齢に伴う炎症」という意味を持つ、医学界の中でも比較的新しい単語です。現在高齢化する社会の中で、“Inflammaging”は医学者や研究者の中でホットトピックとなっています。

炎症と聞くと、怪我をして傷口が腫れてしまった、ウイルスに感染して熱が出たというような症状を思い浮かべる方が多いと思いますが、これらは急性炎症の例で、比較的短期間で炎症が沈静化します。一方、慢性炎症とは、炎症が数年にわたって続き、症状がなく病気と気づかなくても、身体の中で炎症が続いていて健康とはいえない状態のことです。

加齢と慢性炎症との関連(“Inflammaging”)は、加齢による多くの疾患が、身体に起こる炎症の増加（慢性炎症）に深く関係しているという事実に基づいて想起された理論です。[1] 慢性炎症は慢性腎臓病やアルツハイマー病等の様々な加齢関連疾患の発症に寄与すると考えられています。人は老化するにつれて、体内のサイトカインという、免疫システムの細胞から分泌される炎症に関するタンパク質が増加していることが最近明らかになりました。[2] 健康な方も年をとるにつれてある程度慢性炎症状態になってしまうということです。老化に伴って起こる内分泌系や代謝、免疫系のさまざまな変化が慢性炎症を引き起こしていると考えられます。症状として現れない慢性炎症が、アルツハイマー病や癌、関節炎、乾癬、心臓病など種々な病気の要因となる可能性があるのです。

最近注目されているメタボリックシンドロームですが、肥満が内臓脂肪に慢性炎症をもたらすことが確認されています。それと似たように老化とともに起こってしまう脂肪分の増加は加齢に伴う慢性炎症に関係しているという考えもあります。

皮膚科学研究をしている立場から私は、この“Inflammaging”がどう皮膚に関係しているか、皮膚科学の面から高齢者の健康を保つことができるのかと深く興味を持っています。皮膚は人の身体全体を覆い、成人では体表面積が約1.6m^{2}あります。また、皮膚は体の内と外とを区切り、水分の喪失や透過を防ぐ、あるいは微生物や物理化学的な刺激から生体を守るという体にとってのバリアの働きを持つと考えられています。加齢とともに皮膚の機能は低下するため、高齢者は皮膚の乾燥や皮膚感染になりやすくなってしまうのです。

動物研究では、老いたねずみは若いネズミに比べて、血中と皮膚内のサイトカインのレベルが高く、炎症性が増加していることが明らかになりました。[3] そして、テープストリッピング（皮膚にテープを貼ったりはがしたりすることを繰り返し表皮を排除する）法を用いて若いネズミの皮膚のバリア機能を奪うと、老いたネズミと同じレベルの炎症増加が観察されたのです。さらに、そのネズミにモイスチャライザーを使って皮膚の水分を補充しバリア機能を取り戻すと、サイトカインのレベルを元に戻すことができたのです。“Inflammaging”は加齢に伴う皮膚の機能不全とある程度関係し、皮膚の

機能を保つことによって加齢に伴う炎症をある程度防ぐことができる可能性があるということです。

この動物研究に基づき、私はミシガン大学の皮膚科研究者達と“Inflammaging”がなぜ起こるのか についての研究を始めることになりました。高齢者と若年成人の血中と皮膚内のサイトカインレベルをはかり、モイスチャライザーが炎症を下げることができるのかを調べます。皮膚は多くの免疫機能を備えた組織なので、炎症による疾患の研究の対象として最適と考えられます。皮膚の炎症を抑えることで、加齢による慢性炎症を防ぐことができるのか？“Inflammaging”という現象の理解を深めることで、加齢に伴って増加する疾患の治療や予防、さらに高齢者の健康維持を目標に研究を進めたいと考えています。

1 真鍋一郎. 慢性炎症と加齢関連疾患 Inflammaging and age-associated diseases. 日老医誌 2017; 54: 105—113. www.jstage.jst.go.jp/article/geriatrics/54/2/54_105/_pdf

2 Kim HO, Kim HS, Young JC, Shin EC, Park S. Serum cytokine profiles in healthy young and elderly population assessed using multiplexed bead-based immunoassays. J Transl Med 2011; 9:113.

3 Hu L, Mauro TM, Dang E, Man G, Zhang J, Lee D, et al. Epidermal dysfunction leads to an ageassociated increase in levels of serum inflammatory cytokines. J Invest Dermatol 2017;137: 1277e85.

医師 中村美緒：8歳で家族とミシガンに移住。ミシガン大学で脳神経学、ジェンダーアンドヘルスを専攻した後、ウェイン州立大学医学部を2014年卒業。セントジョセフマーシー病院にて 1 年のインターンシップを終え、2015 年 7 月よりカリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部附属病院皮膚科乾癬センターに勤務。2017年夏にはミシガンに戻り、ミシガン大学病院の皮膚科部にて勤務。

イベント情報

注：掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認して下さい。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じても、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承下さい。

特別イベント

デトロイト・ボートショー
Detroit Boat Show
Cobo Center, Detroit
2月17日（土）– 25日（日）
土：　10:00am – 8:00pm
日・月：　11:00am – 6:00pm
火 – 金：　3:00pm – 9:00pm
チケット：大人$13
子供は大人と無料
http://detroitboatshow.net
フィッシング、クルーズ、ウォータースキー、ウェイクボード用ボートのほか、カヤックなど親しみやすいものまですべて揃う。

バレエ

アメリカンバレエシアター
「ロミオとジュリエット」
American Ballet Theatre
Romeo and Juliet
Detroit Opera House, Detroit
2月8日（木）– 11日（日）
www.michiganopera.org

ミュージカル

ファインディング・ネバーランド
Finding Neverland
Fisher Theatre, Detroit
2月6日（火）– 18日（日）
www.broadwayindetroit.com

コーラスライン
A Chorus Line
Fox Theater
2月17日（土）
www.313presents.com

レ・ミゼラブル
Les Miserables
Fisher Theatre, Detroit
2月27日（火）– 3月11日（日）
www.broadwayindetroit.com

シンデレラ
Cinderella
Fisher Theatre, Detroit
3月13日（火）– 18日（日）
www.broadwayindetroit.com

ステージ

森みゆきコンサート2018
with ドリームシンガーズ
Miyuki Mori Concert 2018 with Dream Singers
Walled Lake Central High School Auditorium
3月11日（日）
開場3:00pm・開演3:30pm
料金：　（前売）大人$22
子供（3–12才）$12
（当日）前売＋$5
２歳以下無料
問合わせ：Miyukids INTL
dreamsingersoffice@gmail.com
NHK［おかあさんといっしょ］第15代歌のお姉さん＝森みゆきがデトロイトで日本文化を真摯に学ぶドリームシンガーズと共に「みんな世界にひとつだけの花」というテーマで心温まるステージを開催

今後の人気イベント

Little Caesars Arena
www.313presents.com
- 3月25日　Pink
- 4月2日　Justin Timberlake
- 4月28日　Stars on Ice
- 9月30日　Marron5
- 10月9日　Game of Thrones Live Concert

Fox Theatre
www.313presents.com
- 3月1日 – 4日　PAW Patrol Live!
- 3月9日　Motor City Blues Festival
- 3月30日 – 31日　Sound of Music

ご存じですか？ デトロイト美術館入館料について

ミシガン州のMacomb、Oakland、Wayneカウンティにお住まいの方は、デトロイト美術館（DIA）入館料が無料です（特別展入場は有料の場合あり）。寒い冬は、デトロイト美術館で世界の名画観賞はいかがでしょうか

www.dia.org

モネ展 開催中
Monet: Flaming Life ～3月4日まで
印象派の巨匠モネの作品が特別展で公開中。最終月です。（別途有料）

日本ギャラリー
JBSD 会員の皆様のご寄付もあり昨年11月にオープンされました。（入場料のみ）

編集委員の独り言

ミシガンの一番の楽しみは四季を通じての自然との振れ合い。その中でも鹿やリス、チップマンクス、ブルーバード等にはしばしば遭遇するが日本人にはとりわけ珍しいのがSUNDHILL CRANE（カナダ鶴と訳されている）。日本でもごくまれに他の鶴の群れにまじっているのが観測されるとの事だが世界に現存する最古の鳥類だそうでその鳴き声も豪快。何か恐竜時代を髣髴とさせる懐古的な紅色の頭部、灰色の胴体が印象的。至近距離に迫っても足早に逃げる事もなく威風堂々だ。

駐在四年目にして初めて迎える厳冬。頼もしく雪道を歩いている動物達の勇姿からエネルギーをもらうそんな冬がまた到来した。運動不足で増えた体重を減らす努力が一番しにくい冬。家の中やバーでスポーツ観戦しながらアメ食食いするだけでなく一日何分かは少なくとも筋トレに時間を割き赴任時の体重に戻す、2018年の抱負としてそんな禁欲的な目標を自分に課する事にした。　Y.O.

デトロイトりんご会補習授業校 **講師募集中！**

デトロイトりんご会補習授業校では、明るく元気で子供大好き、やる気溢れる講師を募集しています。
詳細は**www.jsd.org/teacherwanted**をご覧ください。
※QRコード読み取り可能な携帯電話で左記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプします

Japan Business Society of Detroit
42400 Grand River Ave.
Suite 202, Novi, MI 48375

家族で読むViews

今月のトピック

- JBSD 基金　グラント授与式 1
- リレー随筆:Technoの聖地 ...D? 3
- デトロイト・ブルワリーツアー報告 5
- 医療のむこう側:“Inflammaging” 6

Views views@jbsd.org(編集部)

皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますので
お気軽にお寄せ下さい。投稿も大歓迎です。

www.jbsd.orgでもViewsをご覧いただけます。

今後のJBSD行事予定

2月
February

スポーツ部会
ボウリング大会
日　時: 2月11日(日)
場　所: Super Bowl Canton
締め切り: 2月7日 (水)

青年委員会主催
スキーバスツアー
日　時: 2月18日(日)
場　所: Boyne Mountain Resort
締め切り: 2月3日 (土)

商工部会・JAPIA・PwC 共催
自動車セミナー
日　時: 2月21日(水)
10:00am–4:00pm (英語の部)
午前: 英語・午後: 日本語
(内容は同じ)

お申し込みについてはJBSD事務局ウェブサイト (jbsd.org) をご確認ください

在デトロイト日本国総領事館主催イベントのおしらせ

- **ミシガン日本語弁論大会 (Michigan Japanese Language Speech Contest)**
  日　時: 2月24日(土) 1:00pm–5:00pm
  場　所: Novi Civic Center (5175 West 10 Mile Road., Novi, MI 48375)
- **DIAひな祭りイベント**
  日　時: 3月4日 (日) 11:00am – 4:00pm
  場　所: デトロイト美術館 (リベラコート、グレートホールほか)
  毎年恒例のひな祭りイベントが今年もDIAにて開催されます。7段飾りの雛人形の展示はもちろん、茶の湯・書道・琴・着付けの実演のほか、生け花や和菓子のワークショップも行われる予定です。皆様お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

問合わせ: 在デトロイト総領事館広報文化班　pr@dt.mofa.go.jp

事務局長だより

2018年も早2ヶ月目に入りました。今年の新年会は、数々のヒット曲を人気シンガーに提供している尾崎亜美さんをお迎えしましたが、新年会にご参加いだいた皆様はお楽しみいただけましたでしょうか。

JBSDとJBSD基金は、会員の皆様から頂いたご寄付を地元への貢献に使わせていただいておりますが、新年会でもご紹介しましたように、昨年の最大のイベントは、去る11月4・5日にデトロイト美術館と共催で一般公開を行った日本ギャラリー新設、ならびに伝統日本文化紹介イベント (Japan Cultural Days) でした。一般公開に先立って11月2日には、日本側から和田総領事、池永滋賀県副知事、太田豊田市長、大口ご寄付をいただいた法人会員各社、アメリカ側からはスナイダー州知事、デトロイト市議会議長ほか要人をお迎えしてオープニングセレモニーが実施され、日本とミシガン、豊田市とデトロイトそれぞれの姉妹関係の強い絆を感じることができました。続く4日・5日は、デトロイト美術館の全会場を使ってイベントを実施しましたが、2日間の入場者は7,000人で、両日とも全ての会場が大変賑わいました。JBSDはこれまで会員と家族向けのイベントに加えて、蚤の市や日本祭りなど地域交流イベントも毎年行ってきていますが、デトロイト美術館を舞台としたイベントは、内容的にも地理的にも今後の新しい文化交流の可能性を開くきっかけになったのではないかと思います。今月から2018年のイベントが動き出しますが、事務局としても更なる活発な活動ができるよう頑張っていきたいと思いますので、宜しくお願い致します。